

学校評価アンケートの結果から

学校評価アンケートの結果より、全体的な傾向は次のとおりです。

一つ目は、「そう思う・ややそう思う」の回答が三者（児童・保護者・教員 以下「三者」という）ともに**80%以上を超えている項目（成果と捉えることができる項目）**として、

- ① 「知」（意欲的に学習に取り組み、多くの知識と技能を習得し、正しい判断力を持つ子）の項目の意欲・学習がわかる・約束を守る
- ② 「徳」（情操豊かで思いやりのある子）の項目の友達とのかかわり・あいさつ・係や委員会・異学年交流
- ③ 「体」（心身ともに健康で前向きに生活する子）の項目の安全指導・行事・体力づくり・相談できる・健康教育食育
- ④ 「地域」（地域に開かれた学校づくり）の項目の地域の声を生かす でした。

二つ目は、「そう思う・ややそう思う」の回答が三者の中で**80%を下回ったものがある項目（課題と捉えることができる項目）**として、

- ① 「知」（意欲的に学習に取り組み、多くの知識と技能を習得し、正しい判断力を持つ子）の項目の研究主題（考えや思いを伝える）・図書
- ② 「地域」（地域に開かれた学校づくり）の項目の家庭地域との協力・地域に発信 でした。

三つ目は、**三者で回答に差がみられる項目・回答に特徴ある項目**として、

- ① 「知」（意欲的に学習に取り組み、多くの知識と技能を習得し、正しい判断力を持つ子）の項目の研究主題（1）思いや考えを伝える（ノートや発表など）・図書
- ② 「徳」（情操豊かで思いやりのある子）の項目の係や委員会・異学年交流
- ③ 「体」（心身ともに健康で前向きに生活する子）の項目の相談できる・健康教育食育
- ④ 「地域」（地域に開かれた学校づくり）の項目の外部の教育力・家庭地域との協力・地域に発信 でした。

アンケート結果を教職員や学校運営協議会で協議し、成果と課題を整理したものは次のとおりです。

I 「知」に関する項目

(意欲的に取り組み、多くの知識と技能を習得し、正しい判断力を持つ子)

○ 「知1－意欲」・「知2 学習がわかる」

肯定的(「そう思う」「ややそう思う」)な回答が、3者(児童・保護者・教員)ともに90%を超える高評価であった。

「意欲」と「学習がわかった・できた」に関しては、連動していると捉えられる。意欲をもって取り組み、「わかることできること」が増えることで、自信につながり、さらに「やってみたい」と次の意欲につながっていく。このようなプラスのスパイラルを積み重ねていけるように、教員は今後も分かる授業を心がけていく。

○ 「知3 (1) 思いや考えを伝える・(2) 先生や友達の話聞いて学習に生かす」

<児童の昨年度からの変化(R4・R5の似た質問事項で比較)>

		R4 参考	R5	経年変化
児童	伝える	80%	86.1%	+6.1ポイント
	話を聞く	94%	94%	±0

「知3 (1) 思いや考えを伝える」の児童の回答は、「知」の他項目と比べると低めであるが、昨年度の似た項目と比べると、6.1ポイント上がっていることがわかる。ただし、他項目より低めの項目であることは、各担任意識しておく必要がある。児童が「自分の意見を伝える」ことができるような方法を色々模索しながら、授業改善に努めていく。

○ 「知4 図書」

<児童の昨年度からの変化(R4・R5の似た質問事項で比較)>

		R4 参考	R5	経年変化
児童	そう思う	62.3%	75.5%	+13.2ポイント
	ややそう思う	22%	17.9%	-4.1ポイント
	肯定的な回答合計	84.3%	94.4%	+9.1ポイント

図書に関する肯定的な回答(「そう思う」「ややそう思う」)が、昨年度から9.1ポイント上がっている。さらに、内訳をみると、「そう思う」の回答が13.2ポイントあがっている。今年度も、読み聞かせボランティアさんによる読み聞かせ活動を、1・2年生は月1～2回程度、3～6年生は年2回程度継続して取り組んでいただいた。また、学習に関連する図書を集めるために、学校司書と連携して用意したり、幸図書館に各学年の担任が借りに行ったりすることで、各学年読書環境を整えてきた。このような取り組みの成果が表れていると考えられる。

Ⅱ 「徳」に関する項目 (情操豊かで思いやりのある子)

○ 「徳2 あいさつ」

<児童の昨年度からの変化 (R4・R5 の似た質問事項で比較) >

		R4 参考	R5 (1)	R5 (2)	R5 平均	経年変化
児童	「そう思う」	56%	54%	54.9%	54.5%	-1.5ポイント
	「ややそう思う」	31.9%	35.5%	34.2%	34.8%	+2.9ポイント
	肯定的な回答合計	87.9%	89.5%	89.1%	89.3%	+1.4ポイント

今年度、児童には、

「(1) 学校で先生や友達に、自分から進んであいさつをしている」

「(2) 朝の旗当番絵安全見守りをしてくださっている保護者や地域の方や交通指導員さんにあいさつをしている」

と、二つに分けて質問をしてみたところ、(1)(2) に差はないことが分かった。

児童の「そう思う」の回答は54%である。戸手小の生活目標では、1年間を通して「すすんであいさつをしよう」を掲げている。「そう思う」の回答のポイントをあげていけるように、年間を通しての生活目標だけでなく、月の重点目標でも取り上げていく。また、児童会の活動でも積極的に取り組んでいくとともに、教員も児童に対してお手本となるように、積極的にあいさつをする。

○ 「徳4 異学年交流」

児童の肯定的回答は、92.5%と高いものの、「そう思わない」と回答している児童が2.6%であった。他の学年の人と仲良くなる楽しさを感じてもらうために、来年度の異学年交流(年6回程度)は、ペア学年を固定して対面で行う計画を立てている。また、学習の中で他学年とかかわりをもって取り組んできたものは、次年度も継続していく。

<R5年度異学年学習取り組み例>

- 1・2年生：学校案内、おもちゃランドへ招待
- 1・3年生：3年生国語の学習を活用した1年生への読み聞かせ
- 3・4年生：4年生国語の学習を活用してお勧めの本の紹介
- 2・6年生：6年生の学習を活用して2年生へカルタをプレゼント
- 5・6年生：自然教室に向けて質問交流、ソーラン節のポイント など

Ⅲ 「体」に関する項目 (心身ともに健康で前向きに生活する子)

○ 「体2 行事」

児童の肯定的な回答の中で一番高く、97.4%であった。学年での取り組みや、全校での取り組み（1年生を迎える会やスポーツフェスティバル、6年生を送る会など）の中で、協力して活動する楽しさを感じていることがわかる。今後も、児童がめあてに向かって力を発揮できるような指導を心がけてく。

○ 「体4 相談できる」

保護者の肯定的な回答は、86.8%であるが、児童 95.9%、教員 100%と比べると、低めのポイントと言える。また、「そう思う」に着目しても、保護者 46.4%、児童 67%、教員 85.7%であり、保護者への学校の支援体制についてのお知らせが十分できていないことがわかる。個人面談以外にも月1回教育相談日を設定していることの周知を徹底し、また、今まで以上に「担任または担任以外でも、いつでも相談できる体制作り」に努めていく。

Ⅳ 「地域」に関する項目 (地域に開かれた学校づくり)

○ 「地域1 外部の教育力」

教員の肯定的な回答が92.9%であったのは、コロナが明け、出前授業などで外部講師の方をお呼びする回数が増えたためであると思われる。今後も、教育効果を検証しながら、体験活動や外部講師の方から学ぶ機会を設定していく。

○ 「地域3 地域に発信」

<保護者の昨年度からの変化（R4・R5の似た質問事項で比較）>

		R4 参考	R5	経年変化
保 護 者	そう思う	28%	53%	+25ポイント
	ややそう思う	55%	42%	-13ポイント
	肯定的な回答合計	83%	95%	+12ポイント

昨年度から、学校だよりや学年だよりだけでなく、学校ホームページを使って各学年の学習の様子をお伝えしていたが、周知が足りなかった反省があった。そのため、今年度は学校だよりに、月半ばに学校ホームページに各学年の学習の様子を掲載していることと、戸手小学校ホームページのQRコードを載せた。保護者の皆様が、それを活用してくださったことで、今年度の肯定的な回答が95%まで上がったと思われる。今後も継続して、学校だよりや学年だより、学校ホームページを活用して、学習の様子を伝えていく。